

S：強み（内部環境） ・山と海がコンパクトにある+AA2:O30 ・全体としての生態系が学べる ・団体や個人として、自然を大切にする気持ちがある ・温暖で自然災害が少ない ・食に恵まれている（魚、果物、野菜） ・波が静かで穏やか ・3年前の日本遺産認定 ・観光資源が豊富 ・歴史や遺産が多い ・手近なところで生活を賄えるものが揃う ・島内でたくさん方言があって面白い ・からかい上手の高木さん（アニメ誘致） ・関西から近い ・移動時間が少ない ・豊島がある ・オリーブ牛、島鰐 ・無人島1人じめできる 住民の人の柄が独特 ・人の繋がりが、都会より強い	W：弱み（内部環境） ・モビリティ問題（路線バスの便が少ない） ・宿泊施設が少ない ・人材不足 ・小豆島町との連携が少ない ・観光に携わる人材不足 ・ゴミの増加 ・伝統が風化してしまう（演歌の島） ・観光協会が複数あること ・寺のトイレが汚い（お遍路さん用） ・買い物が不便 ・大手コンビニやスーパーが参入して、個人のお店が潰れてきている ・おいしい魚類を一般のものは求めにくい ・トイレ不足 ・道路の整備が行き届いていない ・使用されなくなった施設の再利用が出来ていない ・自動販売機が多い ・ブラごみだらけの浜 ・空き家が増えている ・移住者と地元の人との交流が少ない
O：機会（外部環境） ・ロケ地になったところが多い ・田舎への関心が高まっている ・実験場所などに選ばれている ・サステナブルな観光地としての知名度を小豆島があげつつある（小豆島町Top 100） ・円安による外国人の来島機会増加 ・観光客が観光地を求めている ・島の知名度上昇中 ・移住者の増加 ・国立公園がある ・島という事 ・混雑していない事 ・瀬戸内国際芸術祭の認知度が高い ・どこからでも、船で来ることが出来る ・フェリー発着が5つある ・インバウンドが増加している ・離島という特別感 ・学べる要素が詰まっている	T：脅威（外部環境） ・公共交通だけで観光するのは難しい ・リピーターが少ない ・産業における競争力が小さい ・外部からの交通手段が船に限られる ・ホテルにおける仕入れ価格高騰 ・地元業者との取引減少 ・観光スタイルの変化への対応 ・少子高齢 ・日帰り観光客の増加 ・宿の廃棄 ・船を使用しなければいけない ・オーバーツーリズム問題 ・移動に燃料がかかる ・利便性が悪い ・物価高騰 ・大学がないため、高校卒業後若者が島から出る ・関係差が激しい